

～隆起サンゴの島“喜界島産”～

BHNボタンボウフウ粉末

●ボタンボウフウとは

- ◎セリ科の多年草で、与那国島や沖縄では、感冒、疲労回復、滋養強壮に効果があり「1株食べると1日長生きする」といわれ、伝承医薬とし昔から風邪や咳止めに利用されてきました。
- ◎日本では主に九州南部から沖縄の海岸沿いに自生しており、海岸の断崖や珊瑚石灰岩でできた岩場に育つので、過酷な環境で風雨にも耐える非常に生命力の強い植物です。
- ◎BHNボタンボウフウは、鹿児島県喜界島産になります。



●隆起サンゴの島“喜界島”

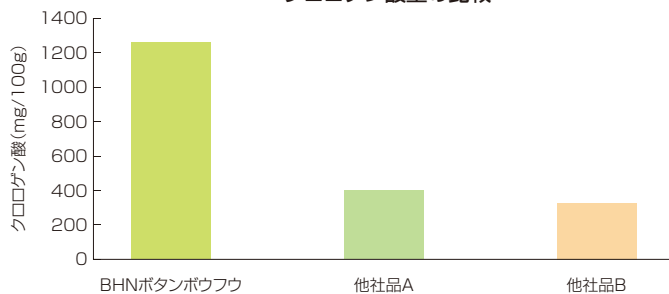
喜界島は鹿児島県の南西諸島の一つで亜熱帯性の植物が豊かな島です。
島は隆起サンゴ礁から成り、現在でも年間数ミリずつ隆起しています。この隆起サンゴで出来たアルカリ性でミネラル豊富な島の土壌でBHNボタンボウフウは育てられています。その為、BHNボタンボウフウの栄養価はかなり高いです。



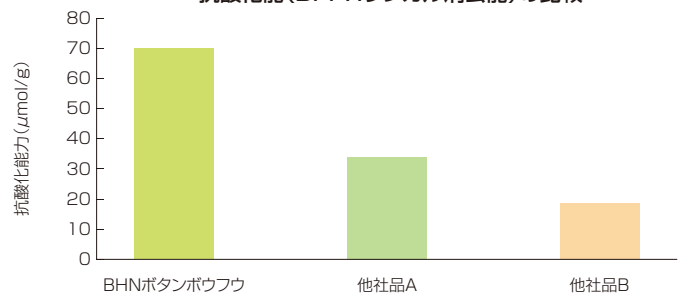
●注目成分“クロロゲン酸”

ボタンボウフウには、クロロゲン酸という抗酸化力が高く、脂肪の燃焼効果を有するポリフェノールが含まれております。弊社のクロロゲン酸量は、他社品と比較すると約2倍も含まれており、それに伴い抗酸化能も約2倍高いことを確認しております。

クロロゲン酸量の比較



抗酸化能 (DPPHラジカル消去能) の比較



●ボタンボウフウの食経験

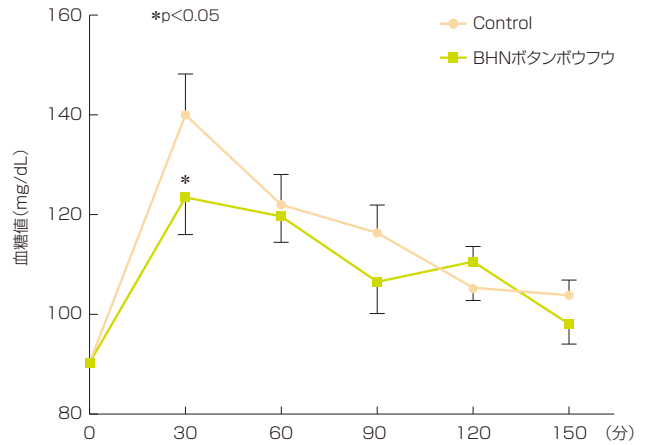
安心の食経験

ボタンボウフウは、沖縄県で伝統的に野菜・薬草として食されており、魚介類の食中毒防止のために刺身の「つま」にしたり、葉や茎を細かく刻んだ和え物や、若芽を天ぷらにしたりします。最近では、ボタンボウフウを粉末にして、沖縄そばに練り込んだり、菓子に配合した加工品として製品化されています。



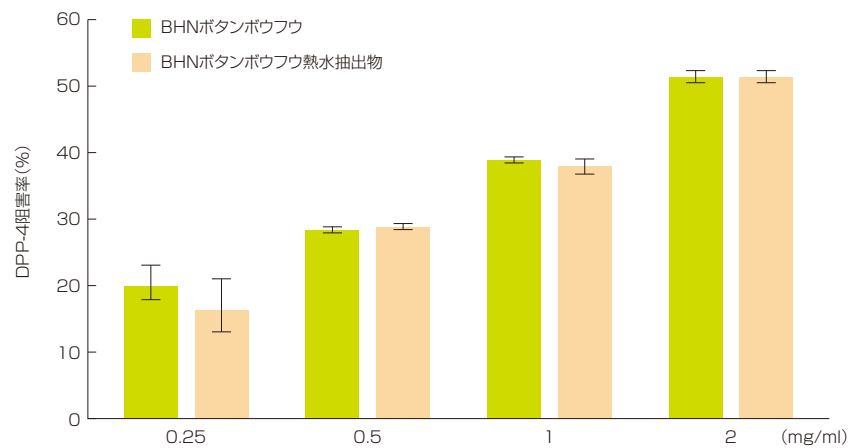
● 血糖値上昇抑制作用(ヒト臨床試験)

被験者7名を対象とし、クロスオーバー法により試験しました。
 試験1日目は水のみを摂取し(Control)、試験2日目はBHNボタンボウフウ1gを25mLの水に懸濁した溶液を摂取しました。その5分後に、200gの米飯を摂取し、米飯摂取後30分、60分、90分、120分、150分の血糖値を測定し、BHNボタンボウフウの食後血糖値上昇抑制作用を評価しました。
 その結果、米飯を摂取した30分後の血糖値は、Controlと比べて、BHNボタンボウフウを摂取した場合において有意に低い値となり、それ以外の時間帯の血糖値についてもBHNボタンボウフウを摂取した場合で低くなる傾向がみられ、食後の血糖値上昇抑制作用が確認されました。



● 血糖値上昇抑制作用(メカニズム)

BHNボタンボウフウ及びその熱水抽出物は、DPP-4と呼ばれる食後に消化管から分泌されるインクレチン(インスリン分泌を促進する消化管ホルモン)を分解する酵素を阻害することが確認されました。また、別試験にてBHNボタンボウフウが、グルコース吸収抑制効果を有することも確認しています。
 これらのメカニズムにより、上記ヒト臨床試験で血糖値上昇抑制効果が確認できたと考えられます。



● 製品規格

BHNボタンボウフウ粉末

項目	規格
外観性状	淡緑色～濃緑色の粉末
水分	8.0%以下
クロロゲン酸	1.0%以上
重金属(Pbとして)	20ppm以下
ヒ素(As ₂ O ₃)	2ppm以下
一般生菌数	3,000個/g以下
大腸菌群	陰性

製品情報

アレルギー表示	必要なし
遺伝子組み換え	遺伝子組み換えでない
動物由来原料	使用していない
原材料表示例	ボタンボウフウ粉末

- ◆包装 装：内容量 10kg～
- ◆包装形態：内容量に応じて(カートンボックス)
- ◆保管方法：冷暗所、湿度の低いところで保管して下さい。
- ◆品質保証期間：製造後2年(ただし、未開封の状態)
- ◆品質管理：ロット毎に製品検査



詳しくはホームページで。www.bhn.co.jp

ビーエイチエヌ株式会社

東京本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-16 TEL.03-5281-5661 FAX.03-5281-5662
 大阪営業所 〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-6-8 TEL.06-6228-6100 FAX.06-6228-6111
 播磨生産開発センター 〒679-5165 兵庫県たつの市新宮町光都1-472-41 TEL.0791-59-8282 FAX.0791-59-8283